

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの3回目ワクチン接種が進み、イベント等の中止もなくなってくると思うので、景気は良くなる。
	◎	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルス禍も少しずつ下火になり、今まで抑えられていた消費行動が、放出されることになるので、必ず購買意欲は上がり、景気も上がってくると、手ごたえを感じている。
	◎	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種率が高まれば、経済も動き出すことを願って、良くなる。
	○	百貨店（営業担当）	・改装により、今までにない新しい客層の集客効果が見込め、シナジー効果が生まれると想定される。
	○	コンビニ（店長）	・商圈内にドラッグストアが新規オープンしたので、この影響がかなり出ていると思うが、3か月後は元に戻るのではないかと。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されれば、春に向けて徐々に客足が戻るのではないかと。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、料飲、宴会売上共に、前年よりは良いものの、ここに来て、まん延防止等重点措置の延長が決まり、3～4月のキャンセルが相次いでいる。解除されれば宿泊や料飲部門は反動で売上が見込まれるが、宴会需要が戻ってくるのは早くとも4月後半からではないかと。もし再延長となれば、それも見込めず新年度は厳しい出だしとなりそうである。
	○	都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルスの新規感染者は減ってきているが、客が非常に慎重なので、劇的な回復はまだ先になるだろう。ただし、1～2月に比べると3～4月は多少予約が動いている。
	○	旅行代理店（経営者）	・年度末を控えて、人の往来が増えてくるとされる。
	○	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス次第だが、学校旅行中心に動きはある。しかし、従来とは形態や日程、方面が変わってきている。
	○	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者が減少傾向にあるとはいえ緩やかで、いまだ多くの感染者が出て収束の見えない状況である。今後も感染症対策を徹底し、まん延防止等重点措置が解除されることを期待したい。
	○	設計事務所（所長）	・3回目ワクチン接種の進捗による新型コロナウイルス新規感染者減少に期待している。建設業への公共発注件数や、民間企業の設備投資にも期待している。
	○	設計事務所（所長）	・新年度になるため、消費活動が盛んになる。
	□	商店街（代表者）	・3回目のワクチン接種の進捗次第で、感染拡大が終息しない限り、先行きは不透明である。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・天気予報では暖かくなるといわれているが、新型コロナウイルスが落ち着いてこない、人々は安心して外に出ることはできない。早く感染状況が良くなることを期待している。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者の増減に影響を受けやすい観光業を営んでいるため、現状、依然として感染者が多く景気は極端に悪くなっている。今までの感染の波と同様、感染者が増加傾向にある時は来客数も減るので、我慢のときかと考えている。さらに、ウクライナに対するロシアの侵攻が始まったため、出控えに拍車がかかると危惧している。現在の底の状況から悪くなりようがないので、変わらない。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右される。また、エネルギー価格の上昇を始め、物価上昇も懸念材料の一つである。
□	衣料品専門店（統括）	・耳にタコができるような状態だが、新型コロナウイルス対策、また最近ではロシア問題等、余り良いニュースが流れていない。消費者の皆も、気持ち的に吹っ切れない部分がたくさんあると思う。私たち商売人は、客の気持ちを考えると消費に向かないのは当然だと思っている。	
□	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株が落ち着いて、平常の生活ができるようにならないと、観光客も来ない気がする。今のところ、これから先の明るい材料は、全くみえてこない。観光客が来てくれないことには、私も観光地はどうしようもないので、感染状況が落ち着くまでは良くなる見込みはない。感染状況次第である。	

□	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響等からすぐに良くなるとは思えない。
□	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況とウクライナ情勢により、今後2～3か月先の景気は、全く予想できない。
□	住関連専門店（仕入担当）	・新型コロナウイルスの感染状況も高止まりで、商材価格の上昇をしきりにメディアが報道するなか、個人消費の機運が上がる要因はほとんどなく、当面今の状況が続く。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・小売としては、新型コロナウイルスとメーカーの動向という2大要素が改善されないと良い方向に行かない。これらが改善されないことには、現状が続くそうである。また、主要取引先メーカーからは今月分からの商材値上げの連絡があった。生産の安定も大きな問題になってきていて、価格戦略の見直しが大切になりそうである。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスを感染症分類の2類から5類へ引き下げてほしい。今の状態では、病状に限らず陽性になれば隔離され、濃厚接触者も行動制限される。これでは経済が良くなるはずがない。
□	タクシー運転手	・多分これ以上は、悪くはならないと思う。今が一番悪い気がする。
□	タクシー（経営者）	・夜の動きが悪いので、この先も良くないとみている。
□	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の変異株の感染が広まり、行動制限も強くなると思われる。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種率が今後影響してくると思うが、現時点では不透明で先がみえないため、変わらない。
□	通信会社（局長）	・新型コロナウイルス禍、転勤時期、携帯電話繁忙期等の外部要因により、問合せが増えている。ただし、一時的なもので、景気が良くなっていると感じるものではない。
□	テーマパーク（職員）	・他県のようにまん延防止等重点措置の解除地区が増えれば、観光客も増えると思う。依然として、新型コロナウイルス新規陽性者数が多い現状では、例年のような学生の卒業旅行や春休みにも期待できない。
□	ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第なので、変わらない。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・客がガソリン等の価格高騰は取まらないとみて消費行動を続けるため、変わらない。
□	住宅販売会社（経営者）	・ウクライナの情勢が不安定ななか、不動産売買はもちろん、賃貸もこのまま動きが鈍い状況が続くと予想される。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・今後については、新型コロナウイルスオミクロン株の影響によるところが大きい。営業活動への影響が継続して出ており、資材価格の高騰も次々に起こっている。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が全然見込めない状況で、まして現状は、新規感染者が増えてきてしまっているので、販売は厳しいかもしれない。
▲	百貨店（店長）	・2月はまん延防止等重点措置適用期間のため、客足、売上共に不調である。今後の見通しは、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少、まん延防止等重点措置の解除によるので、どの程度回復するかは不透明な状況である。
▲	スーパー（商品部担当）	・ワクチン接種3回目が終わりと、行動規制が緩和されればと期待はしている。ただし、生活スタイルの変化がなければ行動が変わると思えない。値上げラッシュのしわ寄せは、食に影響が出るので、厳しい環境になると思っている。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に続き、円安、材料費の高騰による値上げ、ウクライナやロシアの政情不安の影響等、不安材料が多く発生した2月である。今後、不況になるのではないかと、消費者が気持的に消費に回すお金を制限していくのではないかと心配している。
▲	乗用車販売店（従業員）	・各種値上げの話があり、受注にも影響している。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・地政学リスクやインフレ圧力の上昇等の影響が更に強まり、食材をはじめ様々なコスト上昇が懸念される。事業所給食部門の売上は契約条件によるので、当面、収支悪化が進むと懸念される。コスト吸収の取組みと受託先への取引条件見直しの依頼を続けていくことになる。

	▲	旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規陽性者の減少により、景気の持ち直しを期待したいところに、ウクライナ問題が緊迫化してきている。ガソリンや食料品の値上げが止まらず、政情不安感も増して、観光需要に水を差すことが懸念される。
	▲	通信会社（総務担当）	・自店舗での販売減少や販路拡大による人件費の上昇等で、やや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・ロシアとウクライナの戦争状況次第では、世界的な影響が出てくる。
	×	スーパー（総務担当）	・3月以降、様々な物が値上がりするため、悪くなる。
	×	コンビニ（経営者）	・夜になって、全然客が来ないことが原因である。
	×	衣料品専門店（店長）	・ロシアの軍事侵攻による影響で、生活に関わる全てで値上げが懸念される。社会不安と新型コロナウイルスの感染拡大により、良くなる要素がない。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスとの上手な付き合い方、いわゆるWithコロナだが、その方向性、将来的な対応の仕方が明らかにならない限り、このまま悪い方向にずるずる行ってしまう懸念材料ばかりである。できるだけ、具体的に循環型社会ができるような方策を示してほしいというのが、率直な気持ちである。
	×	家電量販店（店員）	・明るい材料がなく、給付金等の再度交付が望まれる。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス禍に加えて、ロシアのウクライナへの侵攻が始まった。まずはガスや石油等価格の値上がりから始まって、やがては世界経済の恐慌の危険性が高まっていくのではないかと。
	×	一般レストラン（経営者）	・今の生活に慣れてしまい、外食の頻度が減るのではないかと懸念している。また、物価上昇で当店でも値上げせざるを得なくなれば、更に悪化するかもしれない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・ロシアとウクライナの戦争問題、北朝鮮のミサイル発射、中国と台湾の動向等もあり、今、世界は平常ではない。物が入らなかつたり、コンテナの遅れ等もあり、株価も非常に乱高下し、現状は下がっている、悪くなると思う。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染に終息がみえない。ワクチンを打てば大丈夫と言われてから、2回打てば大丈夫、3回打てば大丈夫と、いつになれば通常に戻るのか分からない。
	×	通信会社（経営者）	・仕入コストの増加分を売価に転嫁できるのは大手企業のみである。むしろ中小企業の利益はひっ迫している。先進国が次々と利上げを打ち出しているなか、我が国はいつまでゼロ金利政策を続けるのか。今の政策を続けても何も変わらないのは明白である。
	×	美容室（経営者）	・資源がなく、お金もない、そして人材がいない。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、ここ2年間、この時期の出荷量が増えている。現在ではそれが浸透してきたらしく、商材の流通が多くなってきている。
	○	経営コンサルタント	・まん延防止等重点措置が解除になり、一般の外出行動や経済活動が平常に戻れば、春の季節とも重なり、地域経済に一定の盛り上がりが見込める。
	○	社会保険労務士	・今よりは良くなっているだろうが、行動制限の解除後、ガソリン価格が余りにも高いと、ゴールデンウィーク等に影響が出そうである。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・取引先の投資マインドに変化がみられ、意欲的だと感じている。今後、商談や受注件数、金額共に、増加していく予想である。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・大きな変化もなく、稼働している。
	□	金属製品製造業（経営者）	・今後の取引先の様子がよく分からない。当社も迷ってしまい困っている。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先が十数社あるが、例年、1～2月は悪く、3月は若干良くなる。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはまだ、新型コロナウイルスの影響が残ると考える。

	□	輸送業（営業担当）	・新年度を迎えるため、新生活用品、白物家電や寝具類は前年並みの物量を確保予定である。多少、引越し依頼等は減っている。また、燃料価格高騰により、荷主からは2～4トンの中型車より大型車の依頼が増えている。コストの軽減を図っているということであり、車両確保も燃料高によるコスト増で、利益は薄くなりそうである。
	□	不動産業（経営者）	・入退去の繁忙期を迎えるが、今の新型コロナウイルス禍の様子では、上向くことは見込めない。
	□	司法書士	・将来に渡ってというか、数か月を要するような発展的な仕事がなくなって、もう4～5年経つような気がしている。こういう社会では、良くなることはないという気がしている。
	▲	化学工業（経営者）	・良くなる材料が乏しく、原材料価格の上昇も止まっていないため、やや悪くなる。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・4月から自動車の組立ラインも通常稼働に戻るとの情報はあるものの、全ては新型コロナウイルスの感染状況次第であり、楽観視はできない。また、ロシアのウクライナ侵攻は世界経済にとっても大きなマイナス要因である。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・ここに来て、ロシアがウクライナに侵攻して、原材料や食料品がまた厳しい状況になるのではないかと。ほぼ全ての物価が高騰していく。しかし、製造業の我々にとって値段を上げることは、至難の業なので、相当厳しくなる。
	▲	建設業（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響もあるのか、すこぶる発注ペースが悪く、新年度に向けて不安しかない。
	▲	不動産業（管理担当）	・続々と資材の値上げ予定があり、当社も4月以降の契約の値上げ交渉をする予定ではあるものの、取引先の反応が余り良くない。空きテナントの内見は多少あるが、こちらも反応が良くない。
	×	建設業（開発担当）	・公共工事発注は前年比86%で大変厳しい。いまだ新型コロナウイルス禍で厳しい状況が続いている。ただそれ以上に大変なことが起こり、今後しばらく厳しい状況が続くのではないかと。ロシアが21世紀に考えられない行動を起こした。人間の尊厳を考えれば、ウクライナの人が気の毒でならない。今回の件に対し、日本人の経営者がウクライナに10億円の寄付をしたという記事を読んで感銘を受けた。素晴らしい人格者である。
雇用 関連	◎	—	—
(北関東)	○	人材派遣会社（経営者）	・3月は年度末でもあるので、卒業や退職に伴う贈答品等、食料品の一部では動きが出てくる。天候にさほど影響を受けなければ、多少気温が上がって、春物も少し動きが出てくる。公共事業も2月から少し動きが出ており、年度末から年度初めに向けては、建設、土木、建築の一部でも動きがあると思われる。
	○	人材派遣会社（経営者）	・人材募集依頼が増えている。
	○	人材派遣会社（社員）	・宿泊施設関係の稼働などを見ると、どん底だったときと比べるとだんだん回復してきて、通常よりは低位であるものの、宿泊者数、稼働率共にある程度の低さで安定している。新型コロナウイルスオミクロン株が収まりつつあることも考え、まん延防止等重点措置が解除になると当観光地も少し良くなってくる。
	○	人材派遣会社（社員）	・求人数は増えているものの、人材不足である。
	○	人材派遣会社（管理担当）	・自動車関連の派遣要請が多いため、やや良くなる。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響は、今のところないよう見受けられるが、材料費高騰の影響が続くため、業況は良くないと聞いている。
	□	職業安定所（職員）	・非正規雇用の増加や飲食店関連の卸売業の回復が見込まれないため、現状維持と思われる。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	・今後の見通しは不透明である。経済状況は特に、世界情勢も絡んでくるのではないかと。
	▲	*	*
	×	*	*